別紙１

自主的環境保全活動の取り組み状況

（事業者名）東洋紡エムシー㈱高砂工場

１　環境保全活動に関する方針等

１－１　環境保全活動に関する方針

・ 東洋紡ｸﾞﾙｰﾌﾟ地球環境基本方針としての環境理念

我々は、人と地球にやさしい技術を通して社会に貢献し、地球環境の保全を図り、次の世代に、住みよい地球と豊かな社会を残すよう努めます。

・ 東洋紡ｸﾞﾙｰﾌﾟ地球環境基本方針としての環境方針

(1) 技術の開発

東洋紡ｸﾞﾙｰﾌﾟの総力を発揮して、人と環境にやさしい技術（製品と製造ﾌﾟﾛｾｽ）の開発に取り組み、環境対策を推進していきます。

(2) 環境保全

製品の開発から設計・製造・販売・廃棄・回収に至る全ての段階において、環境に及ぼす影響を予測し、評価し、低減し、環境保全に取り組みます。

(3) 社会への貢献

より良い地球環境の実現を目指し、事業を通じてだけでなく、良き企業市民として、社会や地域における環境保護や生物多様性保全活動への支援・参画に積極的に取り組みます。

・ 高砂工場の環境理念

① 『順理則裕』を根幹となる「理念(Principle)」とし、この「理念(Principle)」のもとで「なすべきことをなし、ゆたかにする」会社になることを私たちの「めざす姿(Vision)」とします。

② 私たちは、人と地球にやさしい技術をとおして社会に貢献し、地球環境の保全を図り、次の世代に、住みよい地球と社会を残すよう努めます。

・ 高砂工場の環境方針

① 環境保全は経営の重要課題

・ 本方針遂行のため、法規の要求事項・著しい環境側面・利害関係者の意見に基づき環境目的・目標を設定し、その実現を図り、定期的な見直しを行うことにより、環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑの継続的な改善と汚染の予防に努めます。

② 法規制の順守

・ 環境に係わる法規制および協定等の要求事項を守ります。
・ 定常作業はもちろん、事故等の緊急時においても地域社会に迷惑をかけないよう努めます。

③ 研究開発から製品出荷及び輸送までの各ﾌﾟﾛｾｽにおける環境負荷の低減

・ 環境負荷の低減に配慮した製品および製造ﾌﾟﾛｾｽの開発に努めます。
・ 原材料の効率的な使用により省資源に努めます。
・ 廃棄物の分別とﾘｻｲｸﾙに努めます。

④ 教育訓練の充実と環境意識の向上

・ 協力会社を含む全従業員が環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑの基本を認識し、環境方針に沿った行動を行うよう教育を行います。
・ 計画的な環境に関わる教育訓練を進め、環境保全の質を高めます。

⑤ 地域との協調連帯

・ 「良き企業市民」として、当工場周辺の美化に努めます。

（目標・計画等の公表の方法についても記載すること）

なお、本方針の開示を外部から求められた場合には公開します。

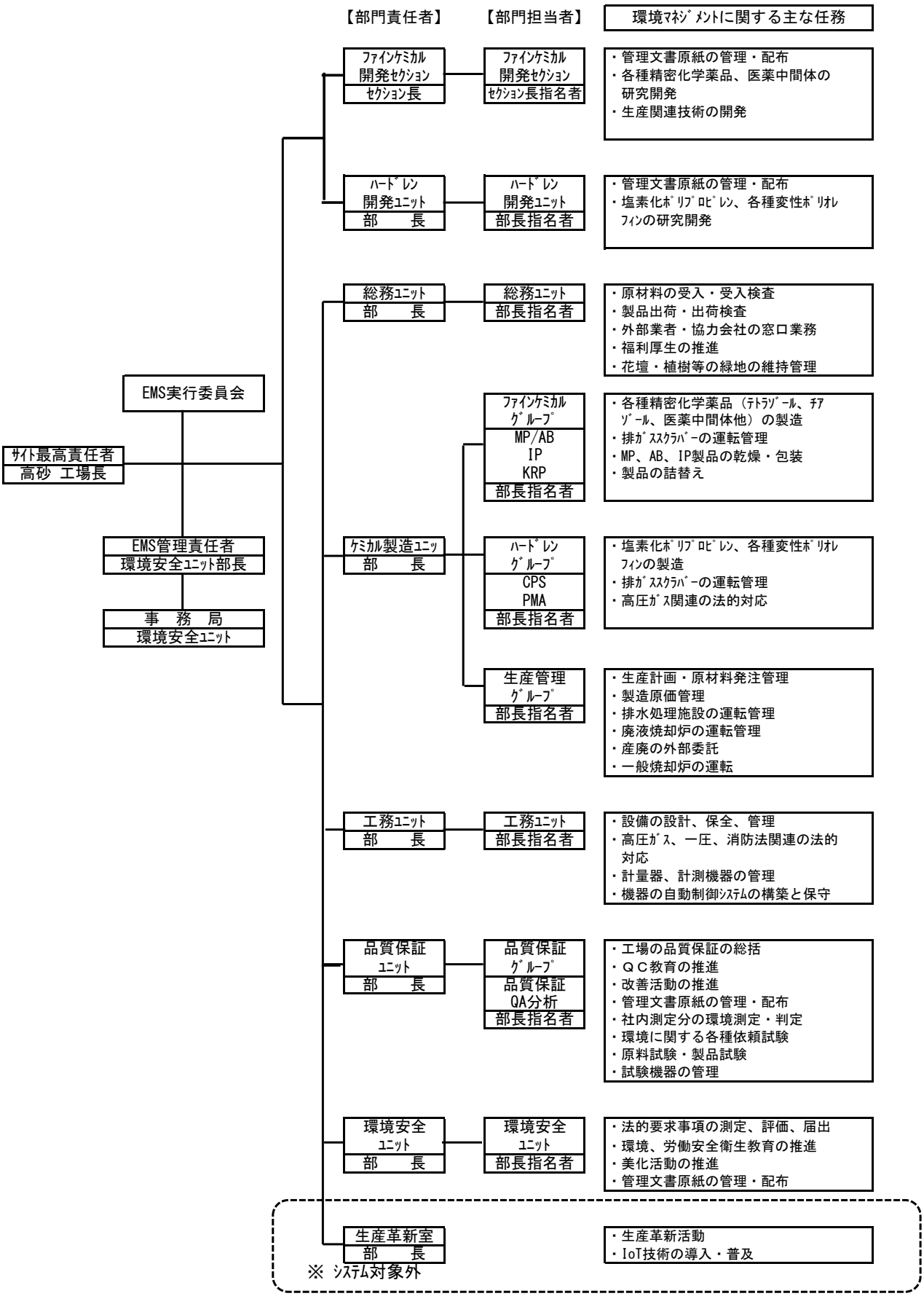
１－２　環境保全活動に関する組織体制

EMS実行組織図参照

別紙２

２　環境保全活動の実施状況等

項　目	取組結果	今後の取組計画
化学物質対策	・ 製造部各部門による漏洩未然防止、保管・管理の適正化 ・ 令和5度のPRTR報告書は令和6年6月17日に電子申請にて提出。	・ 現行取り組みの維持
廃棄物対策	・ 産業廃棄物業者との話し合いで、ｾﾞﾛｴﾐｯｼｮﾝを達成した。	・ 令和6年度もｾﾞﾛｴﾐｯｼｮﾝ達成 ・ 廃ﾌﾟﾗ削減を検討する。
二酸化炭素排出抑制	・ 特に目標を設定せず、これまでの活動を継続。主にはｶﾞｽｺｰｼﾞｪﾈﾝｼｽﾃﾑ導入、省電力、ﾏｲｶｰ通勤の自粛で取り組んでいる。	・ 令和6年度も同様 ・ 外部委託処理廃液の自社処理化 ・ 水銀灯のLED化
研究開発から製品出荷及び輸送までの各プロセスにおける環境負荷の低減	・ 製品収率ｱｯﾌﾟによる廃液原単位削減は達成出来なかった。 製品EXO-TMN-Cの廃油ﾄﾙｴﾝを有価販売することで廃液発生量を抑制出来た。	・ 令和6年度も同様に、廃液のﾘｻｲｸﾙ化を検討し、自社処理化にも取り組む。
教育訓練の充実と環境意識の向上	・ 各職場において、自職場の環境目標と環境方針に沿った行動を行うような自覚を促す教育を年度の初めに実施している。 ・ 新入社員に対する環境基本教育の実施を実施している。	・ 年度初めの教育については、引き続き実施していく。 ・ 新入社員に対する環境基本教育の実施を引き続き行う。
地域との強調連帯	・ 1回/月のﾍﾟｰｽで当工場周辺の美化活動を実施 ・ 兵庫県ｸﾘｰﾝｱｯﾌﾟ大作戦への参加。 ・ 曽根天満宮の秋祭り後に自主清掃。	・ 令和6年度も引き続き実施中。
環境ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	・ 本社へ当工場のﾃﾞｰﾀを報告し、東洋紡ｴﾑｼｰ㈱として情報を公開している。	・ 引き続きWebのHPで環境情報を公開していく。

ＥＭＳ　実行組織図

制　定　　'９７．０８．１１
改定25　　'２３．０４．０１